

令和元年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

令和元年5月28日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



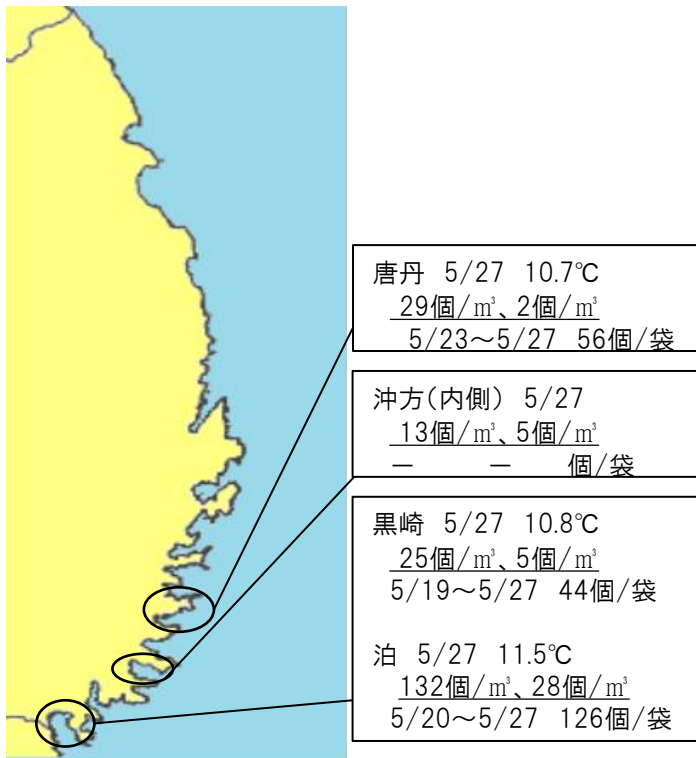
一部の地域でコツブムシが確認されました。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.7℃で、透明度は9.0mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイラーバの出現が継続しています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは56個体（5/23～5/27）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち付着直後の稚貝は52個（93%）でした。
- 唐丹湾における1週間あたりの付着稚貝数は徐々に増加しています。
- 県南の一部の地区ではコツブムシが確認されています。

< 宮城県の場合（5月23日発行ホタテガイ採苗通報（第5報）） >

県北部海域で採苗器の投入時期を迎えた。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月6日頃に
発行する予定です。

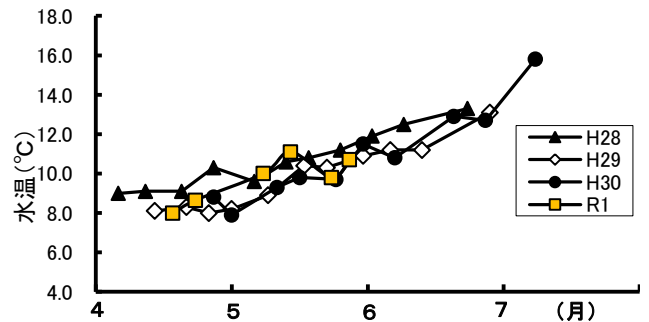


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

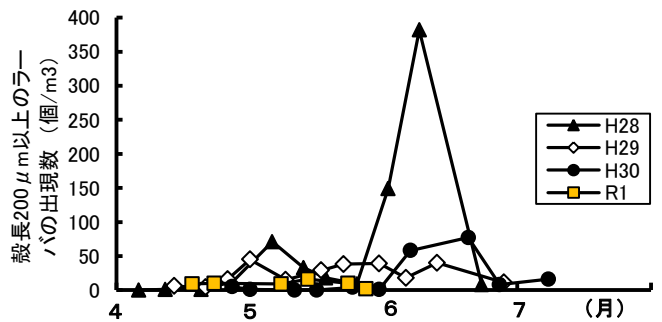


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

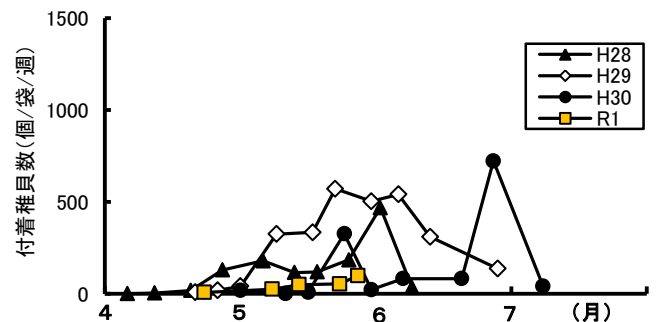


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数